

町民にインタビュー

かわはら けんすけ

河原 健介 さん (石山)

就農して6か月

これからも家族みんなでがんばります！



―出身地と家族構成を教えてください。

東京都出身、妻と両親の4人家族です。

―酪農をやりたいと思ったきっかけは。

もともと動物が好きで、畜産関係の仕事に就きたいと考え、酪農学園大学に進学しました。その後は道外の肉牛牧場に就職しましたが、いつかは自分で牛を飼いたいという夢もあって北海道に来ました。酪農ヘルパーの募集を見て清水町に来ることになりました。

―新規就農する前ほどのような仕事をしていましたか。

農協で2年勤め、その後は酪農家のもとで経験を積んでいました。

―酪農を始めて苦労している点はありませんか。

エサやりがTMR（混合飼料）ではなく、全て手作業なので、その点が大変ですね。

―清水町の住み心地はいかがですか。

周りの人がとても親切で優しい人ばかりなので助かっています。また、大学時代の同級生が清水町で働いているので、とても心強いです。

―今後の目標は。

搾乳牛を40頭から50頭に増やし、個体販売ができるようになればと思っています。また、今年から10町（約10ヘクタール）の牧草地を借りられるようになったので良質な牧草を作っていきたいです。

次の定例議会は

開会 3月12日

3月の定例議会は、3月12日に開会を予定しています。

詳細は、3月上旬に発行する新聞チラシ折込をご覧ください。

インターネットでも生中継や録画中継がご覧になれます。

傍聴される方は、マスクの着用、手指の消毒、人との間隔をあけるなどの感染症対策にご協力ください。

表紙の写真

清水高等学校 生産技術系列（食品分野）の3年生の授業の様子です。先生の指示がなくても、自分で考えながら手際よく作業を進めているそうです。卒業後はそれぞれの道に進む皆さんの、今後の活躍に期待しています。



表紙担当：前広報広聴常任委員 山下 清美